

# さわやかな味と香り 新メニュー開発



各店が工夫を凝らした八女茶うどんの新メニューを試食する関係者

## 八女茶使い 緑のうどん

筑後地区や佐賀県のうどん店をつくる「筑後うどん振興会」(江頭康夫会長)が、八女茶を使った、目にも鮮やかな緑色のうどんを開発した。八女茶ペーストを混ぜ合わせて作ったもので、茶ならではのさわやかな味や香りが売り物だ。

八女茶ペーストを開発したのは、約30年前から無農薬で茶栽培に取り組む「いりえ茶園」(八女市黒木町)の入江俊郎さん(61)。これまで、粉末やペースト状の茶は、熱を加えると変色するため着色料などが必要だったが、入江さんは独自の技術で、熱を加えても変色しない無添加の茶ペーストを開発した。

振興会は、全国で通用する「八女茶」ブランドを生かし、

### 筑後振興会 無添加ペースト 4月から9店に登場

筑後うどんの知名度を高める好機と、入江さんの技術を採用。新メニュー開発に取り組んだ。

16日には、振興会の9店の店主がうどん店「麺菜」(筑後市)に集まり、新メニューを試食した。「桐乃家」(八女市)は、小麦粉に5%の茶ペーストを配合し、直径約1mmの細麺に仕上げた。冷水にチェリーとともに浮かべ、そうめん風に食べる。

「一吉うどん」(佐賀県みやき町)は、シラスと同産のアスパラガスの天ぷらなどを載せた「ぶっかけ」などを考案した。他の店も、女性客をターゲットにワカメや錦糸卵、白ごまなどで飾り付けた色鮮やかな「ぶっかけ」などを披露した。

試食会に参加した入江さんは「さわやかな味でうどんを再発見した思い。飲料としての茶の消費が落ちている中で、『食べるお茶』の魅力をアピールできる」と期待していた。

振興会では、新茶シーズンに合わせ、4月半ば以降に新メニューとして9店で販売を始める予定。江頭会長は「どのメニューを食べても、うどんの良さは損ねておらず、茶の味がアクセントになっている。目にも鮮やかで食欲もそる。新しいうどんをぜひ試してほしい」と話している。

(末波昌雄)



### 折り紙でひな人形作り楽しむ 坂本繁二郎生家 親子連れなど参加

久留米市出身の洋画家、坂本繁二郎の生家(同市京町)で18日、折り紙でひな人形を作る体験講座があった。写真。市の主催。坂本家に伝わるひな人形が飾られた会場で、親子連れなど15人が手づくりのひな人形作りを楽しんだ。

日本折紙協会筑後支部の関根千鶴子さん(92)が講師を務め、千代紙や佐賀県に伝わる鍋島小紋の模様入りの折り紙を使って、3歳ほどの小さな男ひなと女ひなのほか、ひな人形の入れ物にもなる飾りを作った。娘と参加した同市合川町

の阿部幸枝さんは「すごくかわいいし、自分で作ると愛着がわきますね」と笑顔を見せていた。

(菅島佐和子)

九条の会・柳川 25日「つどい」開催

九条の会・柳川は25日午後2時から「12周年のつどい」を、柳川市上宮永町の柳川総合保健福祉センター「水の郷」ホールで開く。

護憲派の憲法学者による講演などがあり、坂本久子世話人は「憲法をめぐる市民の関心を高めるきっかけに

筑後

---

**久留米総局**  
0942-32-5361  
FAX 32-5363  
kurume@nishinippon-np.jp

**大牟田支局**  
0944-53-3021  
FAX 53-3022  
omuta@nishinippon-np.jp

**柳川支局**  
0944-72-3179  
FAX 72-3190

**筑後大川支局**  
0942-42-3230  
FAX 42-3231

**浮羽支局**  
0943-75-2805  
FAX 75-4477

**八女支局**  
0943-23-2535  
FAX 23-2565

**小郡支局**  
0942-23-8620  
FAX 23-8621

購読申し込み  
0120-44-0120



洗玉眼鏡橋を清掃する「ひふみよ橋を守る会」のメンバーたち

### 住民団体清掃 石橋すっきり

八女市上陽町で石橋の保全活動などに取り組む住民団体「ひふみよ橋を守る会」(久間一正会長)が18日、星野川に架かる「洗玉眼鏡橋」を清掃した。

同橋は長さ32・5m、幅5mの一連アーチ。国指定重要文化財の通潤橋(熊本

この日は、同会メンバーら約15人が手製のゴンドラ

県山都町)の建造で知られる石工、橋本勘五郎によって1893年に建造された。上陽町には多くの石橋があり、特に洗玉眼鏡橋を含む星野川に架かる四つの石橋は上流から順にアーチ数が一連から四連まで増えることから「ひふみよ橋」の愛称で親しまれている。

久留米市で毎週水曜日に開いているシニア中心の勉強会「水曜会」が300回を迎えるのを記念し、22日午後3時半から同市六ツ門町のホテルニュープラザ久留米で記念講演会と懇親会が開かれる。

同会は医療法人天神会元理事長の古賀暉人さん(73)の呼び掛けで2010年に発足。シニア同士が互いの経験や知識を生かしながら交流し、人生を豊かなものにしようと活動している。

**シニア勉強会 久留米市の「水曜会」  
22日 300回記念し講演会**

現在、水曜会メンバーは約220人。講演は、古賀さん(懇親会は8時)

したい」と話している。

当日は、2015年の安

全保障関連法案成立の際、国会前で展開された市民や若者の抗議デモの様子を撮影したDVDを上映。東京慈恵会医科大学の小沢隆一教授が「憲法九条と安倍政治」の題で講演する。参加費500円で、高校生以下は無料。

柳川市は佐賀空港への自